

令和元年度道徳教育パワーアップフォーラム

『主体的・対話的で深い学び』に向けた  
道徳科の授業づくりと評価  
～道徳教育推進教師を中心とした道徳教育の取組を通して～

文部科学省 初等中等教育局 教育課程課  
教科調査官 飯塚 秀彦

本日の内容

2

- 1 道徳教育の必要性
- 2 道徳教育の要としての道徳科
  - (1) 指導計画の充実
  - (2) 各教科等の特質に応じた道徳教育
- 3 道徳科の授業と評価
  - (1) 道徳教育の目標とその構造
  - (2) 道徳科の授業
  - (3) 道徳科の評価

1 道徳教育の必要性

3

平成28年12月21日

中央教育審議会

「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について(答申)」

平成29年3月31日

小学校、中学校学習指導要領改訂

→小学校、令和2年度から全面实施

→中学校、令和3年度から全面实施

平成30年3月30日

高等学校学習指導要領改訂

→令和4年度～年次進行で実施

1 道徳教育の必要性

4

本答申は、2030年の社会と、そして更にその先の豊かな未来において、**一人一人の子供たちが、自分の価値を認識するとともに、相手の価値を尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、よりよい人生とよりよい社会を築いていくために**、教育課程を通じて初等中等教育が果たすべき役割を示すことを意図している。

中央教育審議会「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について(答申)」  
(平成28年12月21日)

1 道徳教育の必要性

5

これからの時代においては、社会を構成する主体である一人一人が、高い倫理観をもち、人間としての生き方や社会の在り方について、**多様な価値観の存在を認識しつつ、自ら考え、他者と対話し協働しながら、よりよい方向を模索し続ける**ために必要な資質・能力を備えることが求められている。子供たちのこうした資質・能力を育成するために、**道徳教育はますます重要**になっていると考えられる。

中央教育審議会「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について(答申)」  
(平成28年12月21日)

1 道徳教育の必要性

6

**考え、議論する力**  
**主体的・対話的で**  
**深い学び**

2019年1月1日  
 ~6月31日(181日)  
 Q: 上記期間中, 日本経済新聞  
 にAIが含まれる記事は何  
 件あったか? (電子版含む)

**3,032件**

AI…膨大なデータから最適  
 解を導き出す。

**人間に必要なのは  
 最適解か?**

**納得解**

納得解の一つのイメージ

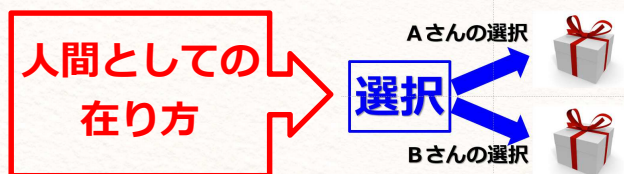
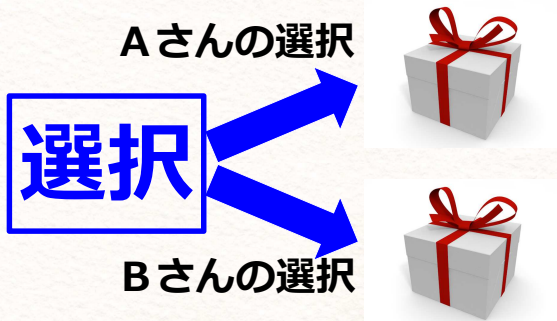
**Aさんの  
 人生観  
 世界観  
 価値観**

**Bさんの  
 人生観  
 世界観  
 価値観**

**考え, 議論する  
 プロセスを通じて**

参考 「人間としての在り方生き方」について

	学習指導要領上の記述	趣旨(学習指導要領解説より)
高等学校	人間としての在り方生き方についての考えを深める	・生きる主体としての自己を確立し、自らの人生観・世界観ないし価値観を形成し、主体性をもって生きたいという意欲を高める(高等学校学習指導要領解説 総則編 p18)
中学校	人間としての生き方についての考えを深める	・人生の意味をどこに求め、いかによりよく生きるかという人間としての生き方を主体的に模索する ・人間についての深い理解を根として行為の主体としての自己を深く見つめる(中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編 p16-17)
小学校	自己の生き方についての考えを深める	・道徳的価値に関わる事象を自分自身の問題として受け止められるようにする ・他者との関わりや身近な集団の中で自分の特徴などを知り、伸ばしたい自己について深く見つめる ・これらの生き方の課題を考え、それを自己の生き方として表現していくこととする思いや願いを深める(小学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編 p18)



自分自身に固有な選択基準ないし判断基準,  
 つまり, 人生観, 世界観ないし価値観

これからの時代においては、社会を構成する主体である一人一人が、高い倫理観をもち、人間としての生き方や社会の在り方について、**多様な価値観の存在を認識しつつ、自ら考え、他者と対話し協働しながら、よりよい方向を模索し続ける**ために必要な資質・能力を備えることが求められている。子供たちのこうした資質・能力を育成するために、**道徳教育はますます重要**になっていると考えられる。

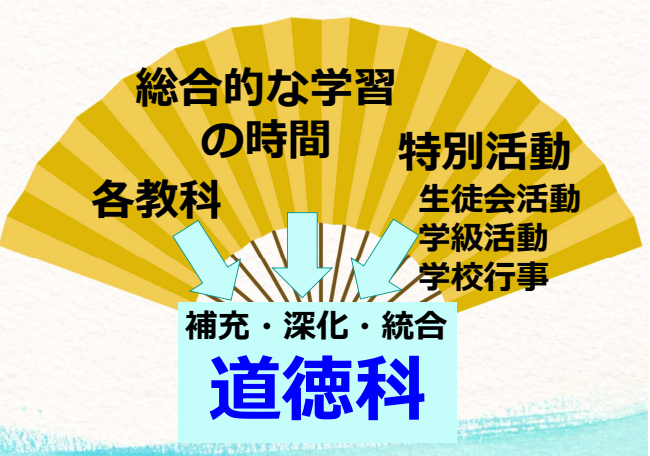
中央教育審議会「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について(答申)」(平成28年12月21日)

- 1 道徳教育の必要性
- 2 道徳教育の要としての道徳科
  - (1) 指導計画の充実
  - (2) 各教科等の特質に応じた道徳教育
- 3 道徳科の授業と評価
  - (1) 道徳教育の目標とその構造
  - (2) 道徳科の授業
  - (3) 道徳科の評価

**教科化されたのだから、道徳教育は道徳科の授業ですればいいんでしょ？**

	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 第6節 道徳教育推進上の配慮事項……………131</li> <li>1 道徳教育の指導体制と全体計画……………131</li> <li>(1) 道徳教育の指導体制……………131</li> <li>(2) 道徳教育の全体計画……………132</li> <li>(3) 各教科等における道徳の基本方針……………136</li> <li>(4) 各教科等における道徳教育……………137</li> <li>2 指導内容の重点化……………141</li> <li>(1) 自立心や自律性を基盤、規律ある生活をすること……………142</li> <li>(2) 生命を尊重する心や自分の役割を認識して、頑張る生きようとする心をもつこと……………142</li> <li>(3) 法やまじりの善悪に関する理解を深めること……………142</li> <li>(4) 自らの将来の生き方を考え主体的に社会の形成に参画する意欲と態度を養うこと……………143</li> <li>3 伝統と文化を尊重し、それらを誇りながら我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重すること、国際社会に生きる日本人としての自覚を身に付けること……………143</li> <li>4 道徳や地域社会との連携……………147</li> <li>(1) 学校や学級内の人間関係や環境を整えること……………144</li> <li>(2) 豊かな体験の充実……………144</li> <li>(3) 道徳教育の指導内容と生徒の日常生活……………145</li> <li>4 道徳や地域社会との連携……………147</li> <li>(1) 道徳教育に関する情報発信……………147</li> <li>(2) 家庭や地域社会との相互連携……………148</li> <li>◎ (資料) 学習指導要領等の改訂の経緯……………149</li> </ul>
--	--

第1章 総則  
第1 中学校教育の基本と教育課程の役割  
2の(2)  
学校における道徳教育は、**特別の教科である道徳(以下「道徳科」という。)**を要として**学校の教育活動全体を通じて行うもの**であり、道徳科はもとより、**各教科、総合的な学習の時間及び特別活動のそれぞれの特質に応じて、生徒の発達の段階を考慮して、適切な指導を行うこと。**







子供の**困っていることを皆で話し合いながら解決すること**は内容項目B「友情、信頼」に資することになる。そして、**学級の皆が分からないことを分かるまで追求していくこと**はA「真理の探究」に大きく関わることになる。このような算数の学習指導は道徳教育にあふれている。

- 1 道徳教育の必要性
- 2 道徳教育の要としての道徳科
  - (1) 指導計画の充実
  - (2) 各教科等の特質に応じた道徳教育
- 3 道徳科の授業と評価
  - (1) 道徳教育の目標とその構造
  - (2) 道徳科の授業
  - (3) 道徳科の評価

### ➤道徳教育の目標

道徳教育は、教育基本法及び学校教育法に定められた教育の根本精神に基づき、人間としての生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者と共に**よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うこと**を目標とすること。

### ➤道徳科の目標

第1章総則の第1の2の(2)に示す道徳教育の目標に基づき、**よりよく生きるための基盤となる道徳性を養う**ため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

### ➤道徳科の目標

**よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、**

**学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。**

### ➤道徳科の目標

第1章総則の第1の2の(2)に示す道徳教育の目標に基づき、**よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。**

道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める

道徳科における「深い学び」の鍵となる「見方・考え方」

中央教育審議会「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について(答申)」(平成28年12月21日)

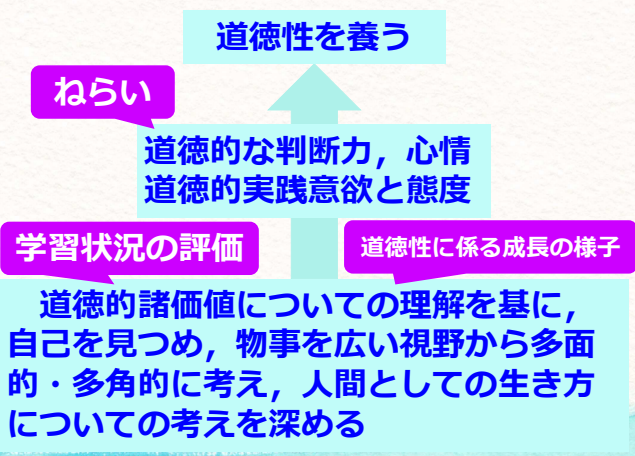
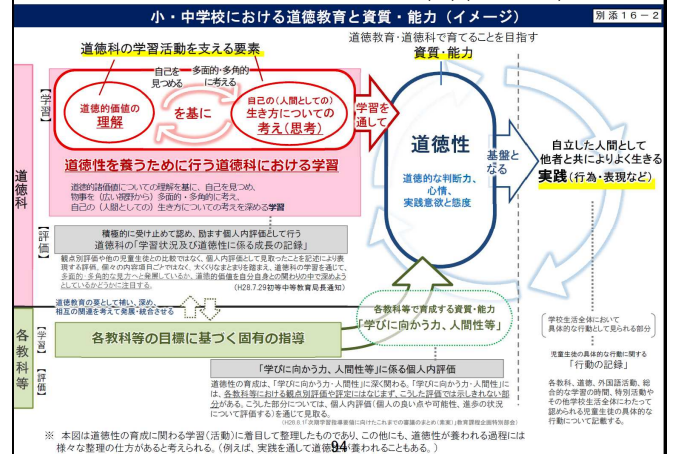
「見方・考え方」  
各教科等を学ぶ本質的な意義の中核をなすものとして、教科等の教育と社会をつなぐものである。子供たちが学習や人生において「見方・考え方」を自在に働かせられるようにすること

中央教育審議会「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について(答申)」(平成28年12月21日)

道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める

子供たちが学習や人生において「見方・考え方」を自在に働かせられるようにすること

学習状況  
道徳性に係る成長の様子



- 1 道徳教育の必要性
- 2 道徳教育の要としての道徳科
  - (1) 指導計画の充実
  - (2) 各教科等の特質に応じた道徳教育
- 3 道徳科の授業と評価
  - (1) 道徳教育の目標とその構造
  - (2) 道徳科の授業
  - (3) 道徳科の評価

### なぜ、教科化？

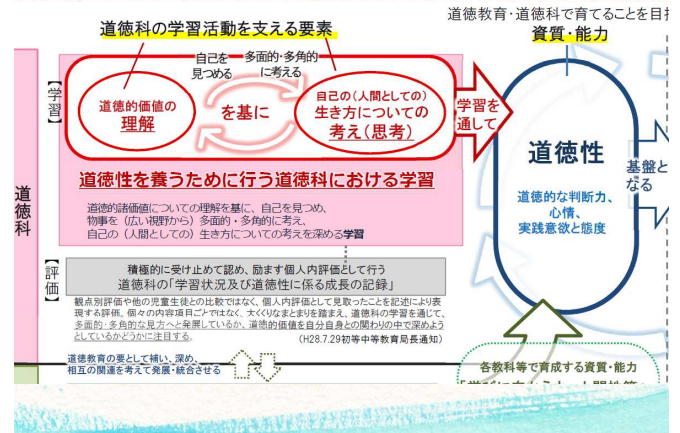
#### → 「量的確保」

…歴史的経緯に影響され、いまだに道徳教育そのものを忌避しがちな風潮があること、**他教科等に比べて軽んじられていること**

#### → 「質的転換」

…読み物の登場人物の心情理解のみに偏った**形式的な指導が行われる例があること**

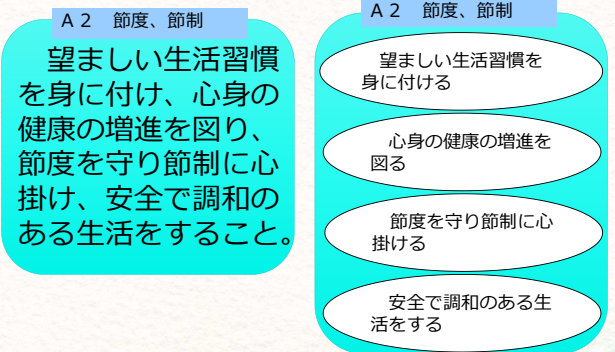
## 自由な発想で豊かな実践を！



### (1) 道徳的諸価値についての理解

よりよく生きるために必要とされるもの  
人間としての在り方や生き方の礎となるもの

- 将来、様々な問題場面に出会った際に、その状況に応じて自己の生き方を考え、主体的な判断に基づいて道徳的実践を行うためには、**道徳的価値**の意義及びその大切さの理解が必要になる。
- 学校教育では、これらのうち発達段階を考慮して、児童生徒一人一人が道徳的価値観を形成する上で必要なものを**内容項目**として取り上げている。



### (1) 道徳的諸価値についての理解

#### 道徳的諸価値についての深い理解

中学生は、道徳的価値について、ある程度の理解は有している。

様々な体験、道徳科の教材 + 他者との対話  
◎自己との関わりを問い直す

複数の道徳的価値の中から、どの価値を優先するのかの判断を迫られる  
◎心の揺れや選択した結果

### (1) 道徳的諸価値についての理解

このようなことを通して、道徳的諸価値が人間としてのよさを表すものであることに気付き、人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念に根ざした自己理解や他者理解、人間理解、自然理解へとつながっていくようにすることが求められる。

指導の際には、特定の道徳的価値を絶対的なものとして指導したり、**本来実感を伴って理解すべき道徳的価値のよさや大切さ**を観念的に理解させたりする学習に終始することのないように配慮することが大切である。



## (2) 自己を見つめる

- 道徳的価値の理解を図るには、児童生徒一人一人がこれらの理解を**自分との関わり**で捉えることが重要
- 人間としてよりよく生きる上で大切な道徳的価値を**自分のこととして**感じたり考えたりすることが大切
- これまでの**自分の経験やそのときの感じ方、考え方**と照らし合わせながら、更に考えを深め、**自分なりに発展させる**  
→将来に対する希望がもてるように

## (3) 多面的・多角的に考える

- 物事を多面的・多角的に考える指導のためには

小学校では

物事を一面的に捉えるのではなく、児童自らが道徳的価値の理解を基に考え、**様々な視点から物事を理解**し、主体的に学習に取り組むようにすることが大切

## (3) 多面的・多角的に考える

- 物事を広い視野から多面的・多角的に考える指導のためには

中学校では

諸事象の**背景にある道徳的価値の多面性に着目**させ、**様々な角度から総合的に考察**することの大切さや、いかに生きるかについて主体的に考えることの大切さに気付かせることが肝要

## (4) 自己の生き方について考える

小学校では

- 児童が道徳的価値に関わる事象を自分自身の問題として受け止められるようにする。
- 他者の多様な感じ方や考え方に触れることで身近な集団の中で自分の特徴などを知り、伸ばしたい自己を深く見つめられるようにする。
- それとともに、これからの生き方の課題を考え、それを自己の生き方として実現していこうとする思いや願いを深めることができるようにする。

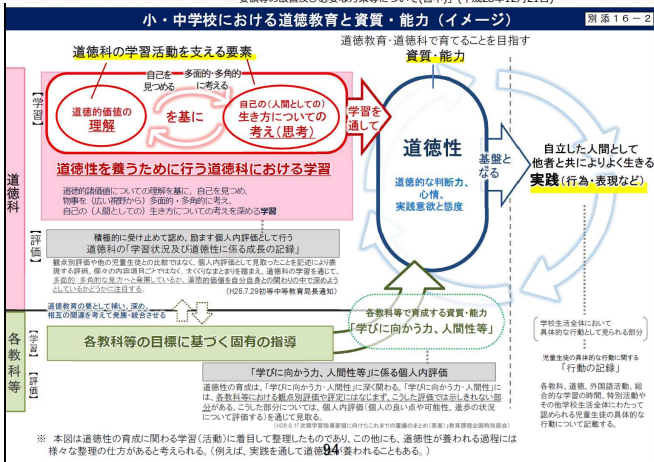
(4) 人間としての  
生き方について考える

中学校では

- 人間にとっての最大の関心は、人生の意味をどこに求め、いかによりよく生きるかということにあり、道徳はこのことに直接関わるものである。
- 人間は、自ら生きる意味や自己の存在価値に関わることについては、全人格をかけて取り組む。
- 人間についての深い理解と、これを鏡として行為の主体としての自己を深く見つめることを接点に、生き方についての深い自覚が生まれていく。

## 本日の内容

- 1 道徳教育の必要性
- 2 道徳教育の要としての道徳科
  - (1) 指導計画の充実
  - (2) 各教科等の特質に応じた道徳教育
- 3 道徳科の授業と評価
  - (1) 道徳教育の目標とその構造
  - (2) 道徳科の授業
  - (3) 道徳科の評価



### 道徳科の評価の基本的態度

道徳科は、道徳教育の目標に基づき、各教科(外国語活動)、総合的な学習の時間及び特別活動における道徳教育と密接な関連を図りながら、計画的、発展的な指導によって**道徳性を養うことがねらい**である。

道徳性とは、人間としてよりよく生きようとする人格的特性であり道徳的判断力、道徳的心情、道徳的実践意欲及び態度を諸様相とする内面的資質である。このような道徳性が養われたか否かは、**容易に判断できるものではない**。

しかし、道徳性を養うことを学習活動として行う道徳科の指導では、その**学習状況や成長の様子**を適切に把握し、**評価することが求められる**。

### このような評価の長所と短所

Aさんは、教材で学びながら自分を振り返り、今後に生かそうとしています。「〇〇〇〇」では、お互いに分かり合うために必要なことについて考え、自分の考えを伝えるだけでなく、相手のよいところも認め、どちらも生かしていくことが大切であることに気付いていました。

保護者にとって子どもの学習状況がイメージしやすい。

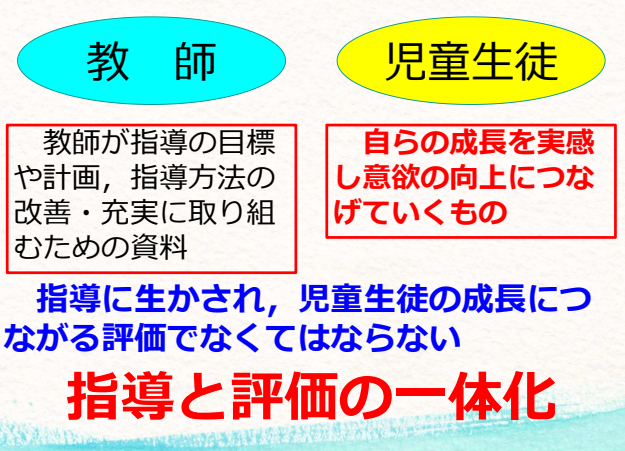
過程の評価ではなく、一つの授業の評価であり、成長の様子が感じ取れない。

### このような評価の長所と短所

道徳の教材で学びながら、登場人物に自分を置き換えて生活を振り返ったり、友達の考えを聞いて、一つのことを様々な見方で捉えたりして、今後のよりよい生き方について考えを深められるようになりました。

継続的な授業により、子供の成長の様子が見られる。

どの子供にも当てはまるような、特徴が見えにくい評価。



### 評価の視点

- ・道徳的価値についての理解を自分自身との関わりの中で深めているかどうか
- ・一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展させているかどうか
- ・児童生徒を認め、励まし、勇気づける記述→その児童生徒の評価